

扁平上皮癌の臨床病理学的解析に関する研究

1. 研究の対象

2012年1月～2023年6月に当院で扁平上皮癌の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

扁平上皮癌は口腔内で最も発生頻度が高いがんです。発生部位（舌や頬など）や病理組織像（顕微鏡でみたときのがんの形）の違いにより、予後や治療方針が異なってくる場合があります。今回の研究では、扁平上皮癌の発生部位や病理組織像の違いと、診療情報（年齢や性別など）、蛋白質発現、遺伝子変化などを比較することで、診断精度の向上や予後の推定、予後の改善に貢献できるものと考えています。

研究期間を2023年7月から2028年3月までとします。大阪大学歯学部附属病院の病理診断結果のもとに、臨床情報と病理組織像に関する情報のデータベースを作成します。それをもとに手術検体から形態学解析、蛋白質発現・遺伝子変化の検討を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究はあなたの診療情報・診療で得た病理組織検査の残余を用いるため、とくに不利益はないと考えております（下記参照）。

- ・ 使用情報：年齢、性別、病歴、治療歴、診療録
- ・ 使用試料：生検あるいは手術で得られた病理組織検体（診断が完了しているもの）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-8

大阪大学大学院歯学研究科顎顔面口腔病理学講座（口腔病理学教室）

Tel：06-6879-2892

研究責任者：廣瀬 勝俊